



「学校に行け、安全な環境で」

化学物質を受容できる体内の容器(カップ)は、人によって大きさが違う。そのカップから化学物質があふれると不眠や頭痛、鼻血や疲れやすいといった症状があらわれる。この病気を化学物質過敏症(CS)という。学校内にある化学物質が原因で、このカップをあふれさせてしまったりいっばいになりかけて苦しんだりしている子どもたちがいる。家の中にある化学物質で発症する「シックハウス症候群」にちなんで「シックスクール症候群」と呼ばれるこの問題、あなたの身の回りで起きていませんか？

シックスクール症候群

原因や症状はさまざま
発症する子どもは特別ではない

個人差はあるものの、シックスクール症候群は特別な子どもの病気ではない。化学物質に取り囲まれた学校で、一日の大半を過ごせば、誰でも発症する危険がある。化学物質を極力使わないことがシックスクール予防の重要な鍵だ。

第10回 アレルギーの会 全国交流会 in くまもと 記念講演会

とき **11/7 土** 12:30～開場、13:00開演
16:30終了 **入場無料**

※入場の際に、整理券が必要です。ご希望の方はTELで問い合わせ下さい。
とこ **熊本市国際交流会館ホール**

お楽しみ
会場へは、化学物質に過敏な方も多く参加されますので、香りの強い香水・整髪料や化粧品のご使用を控えて、防虫剤使用の留意をお願いいたします。



●演題 **「シックスクールとアレルギー —学校に行けない子どもたち—」**

●演者 **角田 和彦氏(かくた かずひこ)**
(宮城県仙台市 昭和総合病院小児科医、アレルギー小児科医)

プロフィール
1953年秋田県生まれ。東北大学医学部卒業。現在、宮城県仙台市にある昭和総合病院小児科医、専任小児科医長。アレルギー、アレルギー性疾患を生活環境・食生活の視点からとらえながら、診療に当たっている。アトピー性湿疹は国民以上を悩ませ、著書に『新感覚アレルギー』(岩波ブックレット)、共著に『シックハウス事典』(読者選定版)、『環境汚染からみたアレルギーとの付き合い方』(近代出版)、『日本人の健康、ここがヘンだよ』(新潮社)等がある。講演会、テレビ等でも活躍中。

■主催/熊本アレルギーの子を持つ親の会 ■問合せ先/TEL&FAX.096-368-6389 会場 坂口(既設有・要予約)
■後援/熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県、熊本市、熊本日日新聞、TKUテレビ熊本、RKK熊本放送、KKT熊本県民テレビ、KAB熊本朝日放送、アレルギーの会全国連絡会

※この印刷物は、くまもとの会「アレルギーの会」(100%社会福祉法人)100%増資で発行しました。